

## 平成29年度（保土ヶ谷高等学校）不祥事ゼロプログラム実施状況

## ○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守意識の向上に努め、公務外非行を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川県職員行動指針の励行</li> <li>不祥事防止の意識向上のための日常的な啓発</li> <li>職場コミュニケーションの活性化</li> </ul> ○これらを意識した行動をとった結果、問題は見られなかった。
わいせつ・セクハラ行為の防止	啓発活動および相談体制の整備により、わいせつ・セクハラ行為を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒へのコミュニケーション手段の適正な利用</li> <li>新採用職員ほか若手職員への相談体制の整備</li> <li>人権意識向上のための研修会の実施</li> </ul> ○これらを実施した結果、問題は見られなかった。
体罰、不適切な指導の防止	生徒理解に基づく指導を推進し、体罰・不適切指導を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒理解に基づく指導の推進</li> <li>生徒・保護者との信頼関係を重視した指導の推進</li> <li>生徒指導における複数対応の徹底</li> </ul> ○これらを遵守した指導の結果、問題は見られなかった。
定期試験・成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	定期試験・成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る体制と手順を明確にし、事故防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期試験の作成や処理、成績処理に係る手順の整理とチェック体制の徹底</li> <li>進路関係書類作成及び取扱いに係る手順の整理とチェック体制の徹底</li> </ul> ○これらを実施した結果、問題は見られなかった。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報を適切に管理するとともに、情報セキュリティ対策の徹底を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報の誤配付、誤廃棄のための管理ルール明確化と遵守の徹底</li> <li>情報セキュリティに関する研修会の実施</li> <li>定期試験後1週間のシュレッダー使用禁止</li> <li>「個人情報校外持ち出し許可願」の提出と直帰の厳守</li> </ul> ○これらを遵守した結果、問題は見られなかった。
業務執行体制の確保等	業務協力体制を整備し、業務の効率化と事故防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務分担の明確化による適正化・効率化の推進</li> <li>情報の共有と保存・継承の推進</li> <li>点検マニュアルやチェックリストに基づく相互チェック体制の整備</li> </ul> ○これらを実施した結果、問題は見られなかった。
会計事務等の適正執行	会計事務等の適正執行に努め、不適切な経理処理を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な各帳票類の作成及び経理処理に資する私費会計処理の手引きの作成</li> <li>財務事務調査指導の結果を踏まえた会計担当者レベルでの私費会計基準の再確認</li> <li>全職員対象の会計業務に関する研修会</li> </ul> ○これらを実施した結果、まだ100%とは言えないが、特に大きな問題は見られなかった。
入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜の円滑な実施に努め、事故を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>入学者選抜実施体制の整備</li> <li>入学者選抜実施マニュアルに基づく手順遵守の徹底と採点ミスの防止</li> </ul> ○これらを徹底した結果、問題は見られなかった。

交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通事故防止及び交通法規の遵守に係る啓発を進め、事故防止に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事故防止に係る啓発資料等の活用による意識の向上</li> <li>・交通法規遵守意識の向上</li> </ul> ○これらの注意喚起の結果、問題は見られなかった。
-----------------------------	-----------------------------------	---

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題  
(校長意見)

- ・平成29年度は月に1回以上実施した事故防止会議では、通知及び啓発資料等を基に職員一人ひとりが自らの問題に置き換えて捉えることができた。
- ・定期テスト期間は毎朝、関係グループからテスト受験上の注意、答案の受け渡しの手順、答案保管上の注意等について注意喚起がなされた。
- ・校長からは、行動規範遵守の徹底は職員と家族を守ることに直結するということを常日頃から注意喚起している。また、職員全体が自由にものを言える職場の雰囲気作りが大切であり、発言の内容だけでなく、どのような表現で、どのような表情で相手にメッセージを伝えるか、も重要だ。本人は意識していなくとも、聞く人にとってはハラズメントに当たることもある、ということをよく考え、生徒、同僚と良い関係を気づいてもらいたい、という内容のメッセージも事あるごとに送っている。

結果として平成29年度は不祥事ゼロプログラムをおおむね達成できたと考えている。

平成30年度については、20名を超える職員の異動があったことも踏まえ、改めて本校における事故・不祥事防止について全職員に継続的な啓発・周知・徹底を図っていく必要があると考えている。